

仙南地域広域観光推進プランに係る令和2年度事業計画(市町別)

資料 5-2

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和2年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
1	白石市	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	白石市、七ヶ宿町(山形県高畠町、山形県南陽市、観光協会、旅館組合)	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	実施予定であった事業のうち一部中止が決定しているものもあるが、新型コロナウイルス感染拡大終息後、東北DCを見据えて準備を行う。沿線の案内看板等の修繕や設置、観光関連の雑誌への広告掲載などによる情報発信を予定している。	施策1-② 施策3-②	重点1(1)
2	白石市	OneZaoインバウンドプロモーション事業(6市町連携分)	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町(山形県山形市、山形県上山市)	蔵王連峰を囲む6市町が連携し、「蔵王(ZAO)」をキーコンテンツに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、多様な旅行商品造成の促進とFIT・GIT向けに統一したプロモーションを進め、訪日外国人の宿泊増と滞在コンテンツの充実を目指す。	・旅行博及びテーマ系国際イベント出展(台湾、タイ、中国) ・海外エージェンとのオンライン商談会	施策1-② 施策3-③	重点1(1) 重点1(2)
3	白石市	(新規) 地域おこし協力隊活用事業	白石市	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	白石城での甲冑試着体験をはじめ、白石城の魅力を活かしたイベントの造成、実施を予定している。	施策2-① 施策4-①	重点2
4	白石市	(新規) OneZaoインバウンド受入環境整備事業(白石市単独分)	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町(山形県山形市、上山市)	東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、連携6市町のうち4自治体がホストタウンとなっていることから、訪日外国人の大幅な増加が見込まれる。外国人観光客の誘客に繋がるよう受入環境の整備を図る。	・白石市内の観光案内看板の多言語化 ・白石城をはじめ市内観光施設へのキャッシュレス決済の導入	施策7-②	
5	白石市	(新規) OneZaoインバウンド受入環境整備事業(6市町連携分)	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町(山形県山形市、上山市)	東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、連携6市町のうち4自治体がホストタウンとなっていることから、訪日外国人の大幅な増加が見込まれる。滞在しやすい顧客満足度の高い受入環境を整備し、リピート率の向上を目指す。	・外国人対応力強化のための宿泊施設向け訪問研修の実施 ・訪問研修結果の域内宿泊事業者向けオンライン研修会の開催 ・外国人宿泊者滞在中間合せ一括窓口づくり業務	施策7-③	
6	角田市	イベント運営事業	角田市(亘理町、山元町)	登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。	・関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かした昼食を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(1回)	施策1-②	重点1(1)
7	角田市	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	角田市、柴田町、丸森町(阿武隈急行(株)、沿線市町)	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	鉄道利用増進に向けた各種イベントの実施 ・あぶQウォークの開催(角田市1回・柴田町2回・丸森町2回) ・沿線活性化事業の開催(フォトコンテスト・絵画展等) ・広域連携と観光資源創出事業(フルラッピング車両を活用した沿線自治体ツアー)	施策1-② 施策3-②	重点1(1)
8	角田市	角田グルメプロジェクト	角田市商工会(角田市)	角田ブランドの推進	・商工会が市内飲食店と連携し角田産食材を使用した新商品の開発を行う。	施策2-① 施策2-②	
9	角田市	仙南地域地場産業振興協議会	仙南2市7町	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	・東京のアンテナショップにおいて仙南地域の地場産品販売会を共同で実施(11月11日～17日を予定) ・県庁1階ロビー販売会に出展(10月5日～9日予定) *R2より事務局が大河原町に変更となります	施策2-②	
10	角田市	体験型かくたチャレンジ推進事業	角田市(道の駅かくた)	道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進	・グリーンツーリズムを中心とした体験・滞在型観光の充実を図る。	施策4-① 施策6-①	重点2

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和2年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
11	蔵王町	みちのく真田ゆかりの地事業	白石市、蔵王町(秋田県由利本荘市)	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	・各市町のイベントにおいて相互にブースを出展(各1回) ・持ち回りでの特別展開催等のイベントを実施	施策1-② 施策2-① 施策3-②	重点1(1)
12	蔵王町	蔵王町体験交流活動推進協議会事業	蔵王町((一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他)	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	・事業の受入体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信	施策4-① 施策4-③	重点2
13	蔵王町	(新規)みやぎ蔵王シャトルバス運行事業	蔵王町	昨年度まで運行していたみやぎ蔵王三源郷エアポートライナーを今年度は蔵王町単独で運行し、仙台空港～蔵王町・遠刈田温泉～蔵王キツネ村を1日1.5往復運行予定。	東北観光復興対策交付金を活用して、航空会社海外サイトバナー掲出、海外OTA掲載、多言語案内板制作・設置等を行う。	施策6-②	
14	七ヶ宿町	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿町(七ヶ宿町商工会、七ヶ宿町観光協会)	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	・七ヶ宿ブランド認定委員会開催(11月) ブランド品の認定基準や審査内容の検討。 ・七ヶ宿ブランド品の販売促進グッズの作製や各イベント等でのPR出店。 ・新商品開発の支援	施策2-① 施策2-②	
15	七ヶ宿町	七ヶ宿ファンクラブ事業	七ヶ宿町((株)七ヶ宿くらし研究所)	「人と場所」や「人と人」の関係性を大切にし、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	ファンクラブ会員に対してイベント案内等を継続して行う。	施策4-①	重点2
16	七ヶ宿町	農業体験などによる宿泊型交流事業	七ヶ宿町((株)七ヶ宿くらし研究所)	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	・グリーンツーリズムを始めとした農山漁村体験や雪国体験など土地の環境や風土を活かした様々な体験プログラムにより、観光客の増加に取り組む。 ・婚活イベントなどを実施して移住者受け入れのための事業も行っていく。	施策4-②	重点2
17	七ヶ宿町	南蔵王やまびこの森整備事業	七ヶ宿町	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをとおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。	・キャンプ場内の外構整備 ・地元食材を使ったメニュー開発 ・周辺の観光地や南蔵王の自然を活用したアクティビティの検討	施策4-②	重点2
18	大河原町	食のブランド化事業	大河原町(大河原町観光物産協会)	地域食材を活用した名物づくり	○町内食のイチオンPRを企画して、チラシ配布等を予定。 ○異業種交流会での食材料理試食会開催を予定。 ○「テイクアウト」や「出前」を行っている飲食店を紹介したチラシ「Let's Eat! おおがわら(飲食店応援)」を10,000枚発行して町内全戸に配布。	施策2-②	
19	大河原町	みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業	仙南2市7町	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。	○現在、大河原町公式ホームページ内にみやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議のページを設けている。 ○今年度はFacebookページの開設、仙南地域のモデルコースを記載したマップ、フォトコンテストの実施を計画。 ○事業の一部については、宮城県市町村振興総合補助金を活用する予定。	施策5-②	
20	村田町	商店街にぎわい創出事業	村田町商工会(村田町)	地域食材の活用等	・「村田新そば&秋の味覚まつり」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止	施策2-①	

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和2年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
21	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業)	大河原町、柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会、「花のまち柴田」インバウンド推進協議会、柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	・インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業 (海外BtoB、BtoCプロモーションの展開) ・桜まつり用2町共同パンフレット作成事業 (両町各25,000部作成)(町費)	施策1ー② 施策3ー① 施策7ー①	重点1(1) 重点1(2)
22	柴田町	にぎわい創出推進事業 (地方創生事業)	「花のまち柴田」インバウンド推進協議会(柴田町、柴田町観光物産協会)	各媒体を活用した情報発信や、イベントの開催をとおして、交流人口の増加を図り、活力のある地域のにぎわいと、地域経済や産業の活性化を目指す。	・フェイスブックへの広告宣伝と観光PR動画の発信	施策3ー①	重点1(1)
23	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業)	大河原町、柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会、「花のまち柴田」インバウンド推進協議会、柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	■滞在コンテンツ強化及び体験プログラム磨き上げ強化事業 ・「桜まつり」強化事業(「さくらマルシェ」の開催、茶道・太鼓・餅つき・お神輿・和装着付け体験など文化体験、佐藤屋プロジェクトとの連携による花見の宴開催等) ・「サイクルツーリズム」強化事業(コース沿道環境整備事業) ・「ナイトツーリズム」強化事業(冬の「ファンタジーイルミネーション」・「SAKURAイルミネーション」のコンテンツ強化) ・沿岸被災地と連携した広域連携観光ツアー造成 ・インバウンド向け商品開発(料理やお土産品開発) ■地方創生計画に基づく観光振興事業 ・3月のスプリングフラワーフェスティバルの開催 ・町民参加による「花のまち」植栽会の開催	施策4ー① 施策5ー②	重点2
24	柴田町	光のまちづくり推進事業 (ナイトツーリズム)	柴田町 (「花のまち柴田」インバウンド推進協議会、柴田町観光物産協会)	オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。	・スロープカーから楽しむ光と音楽の演出 ・町民参加による光のモニュメント、装飾等の製作 ・各種イベントと連携したナイトイベントの開催 ・花のイベントに合わせた夜の鑑賞会の開催	施策4ー①	重点2
25	柴田町	(新規) ガーデンツーリズム推進事業	柴田町 (みやぎ蔵王ハーモニータワー回廊推進協議会(県南2市9町))	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	(1)ガーデンロードの設定(ルート企画・設定) (2)情報発信事業 ①インフルエンサー招致による情報発信 ②花の季節に合わせた情報誌等での情報発信 (3)共通物品整備事業 ・関係者用スタッフジャンパー製作	施策5ー①	
26	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンドおもてなし受入環境整備強化事業)	大河原町、柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会、「花のまち柴田」インバウンド推進協議会、柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	・大河原町内インバウンド用観光案内サイン等の整備 ・柴田町内インバウンド用観光案内サイン等の整備	施策6ー② 施策7ー⑤	
27	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンド誘客人材育成強化事業)	大河原町、柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会、「花のまち柴田」インバウンド推進協議会、柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	・インバウンドセミナー開催事業(2町住民のインバウンド意識の向上を目的としたセミナーの開催) ・小・中学生によるインバウンド対応ボランティアガイド育成事業 ・地域観光ボランティアガイドの養成事業(一般町民対象)	施策7ー③ 施策8ー②	重点2

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和2年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
28	柴田町	(新規) 外国人観光客受入 環境整備促進事業	柴田町	観光施設における無料Wifiの整備	観光客受入環境整備促進事業補助金	施策7-④	
29	丸森町	海外プロモーション 強化事業	丸森町 (南宮城(県南4市9 町))	これまでに造成してきたツアーの直接販売を 行うための営業を展開する。	・事業者主体によるメインターゲットB to Bセールス(台湾、中国及びタイ)	施策3-③	重点1(2)
30	丸森町	グリーン・ツーリズム と連動した旅行 業展開	(一財)丸森町観光 物産振興公社 (まるもりグリーン・ ツーリズム推進協 議会)	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸 森“こらいん”ツーリストが連携し、農業にとど まらない体験メニュー商品を造成・販売	・町全体を舞台とした体験交流の促進 ・体験交流促進ツール(パンフレット・小冊子)の整備 ・丸森の観光の魅力をPR(町外への情報発信)の強化	施策4-①	重点2
31	丸森町	滞在コンテンツ充 実・強化事業① (教育旅行推進事 業)	丸森町 (南宮城(仙台市か ら南側の県南4市9 町))	中国の教育旅行の誘致を行うとともに関係者 を招請する。	・中国の教育旅行の誘致を行うとともに関係者を招請する。 ・FAMトリップにて10名以上を招聘し、南宮城の教育・スポーツ交流を国外にPRする。	施策4-③	
32	丸森町	滞在コンテンツ充 実・強化事業② (防災ツーリズム推 進事業)	丸森町 (南宮城(仙台市か ら南側の県南4市9 町))	南宮城の観光コンテンツを洗い出し、受入・対 応方法検討、ツアー造成と段階を踏み、実証 実験まで実施する。	・事業者主体による防災ツーリズムの推進	施策5-①	
33	丸森町	受入環境整備事業	丸森町 (南宮城(仙台市か ら南側の県南4市9 町))	南宮城へのインバウンド誘客がスムーズにな るよう交通インフラの整備、受入態勢の強化を 行う	・WEBプラットフォームの充実化のため、新たにサイクルコース新たにサイクルサービスを10件以上造成し、掲 載。 ・上記サービスはターゲット国にあわせて、英語・繁体字・簡体字・タイ語に多言語化し掲載。 ・宿泊受入者やサイクルガイドなど4名以上に対し、国内外における実運用事例から学ぶための実践者向け視察 研修を実施。	施策6-③ 施策7-⑤	重点2
34	丸森町	宮城インバウンドD MO推進協議会に おける観光戦略立 案	丸森町 (南宮城(仙台市か ら南側の県南4市9 町))	沿岸2市2町を含む県南4市9町が連携した観 光地域づくりのための戦略を立案する。	・継続 ・R2年度までに実施した事業の成果を活かした観光戦略を立案し、更なるインバウンド誘客を推進する	施策9-①	重点3
35		ブランド創造会議開 催事業	大原地振 (みやぎ蔵王三十 六景ブランド創造会 議)	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業 者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用し た「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振 興・産業振興に資する活動を検討する。	①ブランド創造会議開催(5回) ・みやぎ観光振興会議仙南圏域会議との併催(年5回程度) ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の検討、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会開催(必要に応じて開催) ・みやぎ蔵王温泉郷の各温泉地が連携した取組を検討	施策1-① 施策9-①	重点3

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和2年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
36		広報展示事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議)	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るため、広報・展示を行う。	・事務所ホームページ・広報紙・SNS等による「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」の情報発信(随時)	施策1-① 施策1-② 施策3-① 施策9-①	重点3 重点1(1)
37		仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会事業	大河原地振 (仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等))	・県南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う(通年)。	・7月31日、県南地域部会開催(R元年事業実績報告、R2年度事業計画検討) ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ」の開催(12月～2月) ・東北DCに向けた県南エリアマップの作成	施策1-② 施策5-②	重点1(1)
38	大河原地振	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	大河原地振 (管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等))	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の次世代への伝承を行うとともに、観光資源の一つとして活用する。	・季節毎の地元食材を使ったおくずかけの飲食店での提供 ・提供店拡大を目的とした飲食店等向け「おくずかけ」研修会の開催 ・農産物収穫体験イベントと連携した「おくずかけ」紹介イベントの開催 ・インバウンドやベジタリアン向けのPR	施策2-① 施策2-②	
39		仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②「食」の名物づくり事業	大河原地振 (管内市町(食品製造・販売事業者等))	仙南地域の「スイーツ」をテーマとした新たな「食」の名物づくりを行う。	仙南地域の「スイーツ」の掘り起こしと、道の駅等と連携したスイーツイベントの開催や事務所HPへの管内菓子店情報の掲載による情報発信を行い、集客促進を図る。	施策2-②	
40		仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議)	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の普及促進に向けた検討やPRを行う。	・観光施設や道の駅等への「地域の逸品コーナー」の設置やSNSを活用した広報による知名度向上、事業者向けセミナー・ワークショップ開催によるブランド力向上を目指す。 ・「地域の逸品」PRリーフレット作成(5千部) ・10月5日～9日、仙南地域地場産業振興協議会と連携し、県庁1階ロビー販売会に出展、「地域の逸品」の販売等を実施	施策1-① 施策2-② 施策9-①	重点3
41		集客・周遊促進事業	大河原地振 (管内市町、福島県東北・相双地域、山形県村山・置賜地域)	県際連携や管内観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	・「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	施策1-② 施策3-② 施策5-① 施策5-②	重点1(1)
42		(新規) 仙南地域・特定コンテンツ発信強化事業	大河原地振 (管内市町ほか)	仙南地域ならではの特定コンテンツをとりまとめて一体的にPRすることにより、通年での集客と広域周遊を促進する。	・特定分野に興味を持つシニア層を主要ターゲットに位置付け、それらシニア層が関心を持ちそうな仙南地域ならではの特定コンテンツをとりまとめて一体的にPR	施策2-① 施策5-②	重点1(1)